



2013年2月



# アフガン ニュース

## 最新情報

### 2014年の治安移行について

この移行は案じられるべきものではなく、むしろアフらニスタンのより大きな可能性に向けた信条のようなものであり歓迎されるべきものだ

### 75%以上

75%以上の地域でアフガニスタン治安部隊によって作戦がすでに進んでいる

### 12,000

12,000人におよぶ多国籍兵士が2014年の移行後もアフガニスタンで支援を続ける

### 352,000

少なくとも2018年の終わりまでは352,000人のアフガニスタン治安部隊が存続する

## 今号のコンテンツ

最新のニュース Pg.1-3



## カルザイ大統領がイスラム首脳会議で地域問題に対処

ハミド・カルザイ大統領は2月6日、7日にエジプト・アラブ共和国で開催された第12回イスラム首脳会議に参加した。大統領は演説の中でアフガニスタンやその他イスラム国家には未だ多くの課題があることを強調し、また、パレスチナへの支援やミャンマーでのRohingyaイスラム教徒の窮状に対する対処の必要性、シリアに平和をもたらすことの大切さなどにも言及した。

### ラスール外務大臣、国連会議で共同司会を務める

ラスール外務大臣は2月13日にジャンキュービス国連特別代表と第二回目となる国連の会議を共同司会した。これは2014年と2015年に執り行われる治安と発展のための移行期間と、2015年から2024年にかけての変換期間においてアフガニスタンと国連間の連結をさらに強めるために開かれたものである。ラスール外務大臣はスピーチの中で、より自然な移行を望む旨を伝えた。

(Continued on page 2)



**ファティミ大使、野田聖子代表によって開かれた歓迎会に出席する**

ファティミ大使は2月25日、東京の帝国ホテルで開かれた歓迎会に出席した。大使は歓迎会の成功を祝福すると共に、日本とその政府によってなされたアフガニスタンへの支援に対する感謝の気持ちを述べた。野田代表は個人的に選挙区である岐阜県でアフガニスタンの現状を知るための呼びかけも行っており、さらなる感謝を述べた。

**ファティミ大使、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム参加者を歓迎**

2月22日に、ファティミ大使と外交官、そして大使館職員たちは駐日アフガニスタン大使館で横浜市立大学、JICAの代表とSATAREPSプログラムのメンバーを歓迎した。2人のアフガニスタン人参加者はプレゼンテーションを行い、NHKの取材を受け、その模様は番組で放送された。

**アフガンビジネス 急速に生産性上げる**

国連世界食料計画 (WFP) は、食料プログラムのために使うビスケットを、外国から輸入せずに、アフガニスタン国内で購入する予定だ。これはアフガニスタンの自国で製品を供給する力が急激に増加していること

を示している。工場所有者であるアブドゥラ・ラジグ・ナシリのトロニュースでのインタビューによれば、世界食糧計画のためのアフガニスタン国内での注文は、昨年50トンから150トンへ増加した。また、アブドゥラ・ラジグ・ナシリの所有する工場は、現在1日に約6キロを製造することができる。他の産業と同様に、アフガニスタンの工場の生産性と生産量は確実に上がっている。これらのビスケットは、アフガニスタン全土で配られる予定である。

**アフガニスタンのビジネス環境、再向上**

平和拡張とインフラ設備の建設推進を強めたことで、約80社にわたるパキスタンで設立されたアフガニスタンの会社がアフガニスタン国内へ移ることを決めた。政府はアフガニスタン投資支援機構 (AISA) を通じて、土地、電力、そしてその他欠かすことのできない設備を提供すると、AISA 会長 Wafiullah Iftikhar がTOL0ニュースの中で述べた。

アフガニスタンの商事・産業議員であるKhan Jan Alokozaiによると、いま現在中国やタジキスタン、そしてドバイにある会社をアフガニスタン国内へと移動させることを検討しているという。

**開発促進**

ネンガルハロ州のベースドとソルクロド地区での開発プロジェクトに対し、1千300万ドル以上の支援を日本政府は行う予定だ。具体的には学校や診療所、また橋や下水溝の建設が対象として挙げられる。ジャワド・ラディン外務副大臣は日本による先導によりアフガニスタンの生活はよりよくなるだろうと述べている。

さらに世界銀行の地域復興と開発省の支援によりサマンガン州で建設されている11キロにもおよぶ10本の橋を通じて、人々の移動や物資運搬を国全体で効率化させると思われる。道路はアイバックにあるのダラスーフのハズラット高速道路と ストランにあるオーグシュ村を結ぶものだ。1年以内に完成する予定で、500以上の家庭がこの効率化の恩恵を受けるであろう。

これらの素晴らしい発展はまだ始まったばかりなので、アジア開発銀行はさらにエネルギー、輸送、自然資源の分野において2013年から2014年にかけて支援すると述べている。

(Continued on page 3)



メディアテクノロジー  
ワークショップ開催

第2回イノベーション・ラボのワークショップが、アフガニスタンのメディアの新たな技術開発や新しい配信方法について議論するため四日間わたって開催された。技術者やマスコミの代表者、そして政府関係者らが出席した。

世界銀行と米国国際開発庁はこれに支援提供している。カーマプレスによると、ワークショップ参加者は「商業として実現可能なアプリケーション開発」に奨励される支援金を得られるよう検討している。

カーマによると、2012年のカブール・ラボの結果、SMSや音声対話、オンライン地図、そしてデータマネジメントなどを使用した6種類の洗練されたサンプルを通じてアフガニスタンの社会や経済発展へとつながったという。

この会議のテーマに関連して「アフガンジャーナリストのジャーナリズム研究の能力向上」と題されたワークショップがカブールで別にサバテレビの支援のもと開催され、55人の

ジャーナリストが国内全土から参加した。このイベントの成功により、イノベーション・ラボがひらかれたという。

### ヘルマンド州に農業機関発足

イギリス政府からの支援による農業に関連する新しい機関が今月上旬ヘルマンド州で発足した。この研究機関は農業関連では国内最大のものとなるであろう。

### アフガニスタンのサフランは世界中で大人気

3トンものサフランが2012年ヘラト州で生産され、2011年の生産量を1トン以上上回っている。国際的に有名になったことにより、昨年の生産量の90%はアラブ首長国連邦のみならずフランスやイタリア、スペインまた他のヨーロッパ諸国など外国へ輸出された。

サフランの生産は順調にヘルマンド州で進んでおり、種子は南部11地域の農家に出回っている。

### アカデミー賞へノミネート

アフガニスタンの子供たちがブズカシ選手になる夢を追う様を描いた「ブズカシ・ボーイズ」がアカデミー賞の短編映画部門であるベスト・リブ・アクションへノミネートされた。主演のジャワンマド・パイズとファワド・ムハンマ

ディはサム・フレンチ監督と共に会場へ足を運び、受賞は逃したが、アフガン人の俳優とスタッフの高い映画製作技術で会場に来ている人々に示すことが出来た。

### ローカルデザイナーが新作を披露

2月上旬に、カブールでファッションショーが開催された。ファッションショーは、若い女性の変革とう団体によって組織され、団体の女性の社会的地位の向上を目指す活動の一環であった。7人の女性を含む全10人のモデルがデザイナーのシャハル・パノ・ジーラックによってデザインされた33の服を着てステージを歩いた。

### ヘラート州バスケットボール大会開催

毎年開催されているプレミアリーグが、今年も西Herat州で2月10日から10日間にわたり開催された。5つのチームが地区大会から選抜され大会に参加した。

初日にAriaはDurikshaに55対50で勝利をおさめ、Maarif Heratは翌日Samanderと対決した。

去年はBig Bear basketball クラブがチャンピオンとなった。

106-0041 東京都港区麻布台2-2-1  
在日本国アフガニスタン大使館

電話・ファックス  
Tel: 03-5574-7611 ・ Fax: 03-5574-0195

ウェブサイト  
www.afghanembassyjp.org



### Contact Us

当大使館のニュースレターに関するご意見、ご質問等ございましたら、大使館広報部 Jason Pratt宛に電子メールにてご連絡下さい。

pratt@afghanembassyjp.org  
Facebook: www.facebook.com/afghanembassyjp



アフガニスタン大使館ポッドキャスト

